

# 令和4年度 鳥取大学 学生 Small CoRE Project 募集要項

令和4年4月14日  
地域価値創造研究教育機構長決定

## 1 趣旨

本学は、「知と実践の融合」を基本理念として、長年にわたり地域と連携した教育研究活動を推進してきました。この実績を踏まえ、全国に先駆けて人口減少、少子・高齢化、産業空洞化等が進む地域の課題解決に資するため、地域価値創造研究教育機構 Platform for Community-based Research and Education (CoRE) を設置し、「人間力」豊かで地方の創生に貢献する人材の育成に取り組んでいます。そうした人材を育成する上では、学生の皆さんが主体的・自主的に取り組む課外活動も非常に有益なものです。

そこで、この要項に定めるところにより、本学の学生(院生及び留学生を含む。以下同じ。)の課外における主体的な地域貢献への取組みを公募し支援することにしました。地域貢献にチャレンジすることが学生の成長のきっかけになり、その取組みが地域創生につながる小さな核となることを期待します。

なお、この要項による支援は、同様の趣旨で本学に寄附される「とりぎん地域連携助成金」を活用して実施するものです。

## 2 募集する活動

1の趣旨に則り、本学の学生のグループ(Type B については、本学の学生が主導するものであれば、学外者も加入しているものを含む。)が企画・運営する次の課外活動(本学で修得した知識や技能の活用、学生らしい積極性やチャレンジ精神の発揮等により、地域の状況改善に貢献しつつ、参加学生の人間力を向上させるような活動)を募集します。なお、当該活動の企画・実施に当たっては、本学に所属する常勤の教職員の助言・指導を受けるようにしてください。

- (1) Type A : 山陰の地域創生に向けて、具体的な成果が出るよう内容や方法を工夫した活動であること
- (2) Type B : 上記(1)に該当する活動であって、地域の行政や企業、団体その他の地域関係者と協働で取り組むものの。

## 3 支援等

4により応募・選考・選定された学生活動(以下「対象活動」という。)については、次の支援等を行います。

### (1) 資金の交付

- ① 対象活動については、その採択年度の実施費用として、Type A については最大5万円、Type B については最大10万円を交付します。
- ② 本資金は、対象活動を実施するのに必要な次の経費に充てるものとします。ただし、1の趣旨に反するような使途に充てることはできません。
  - A) 旅費：講演講師等の招聘旅費、学生の活動旅費など
  - B) 役務費：会場や設備の使用料、通信運搬費など
  - C) 謝金：講演講師等への謝礼など
  - D) 物品費：備品(特別に必要と認めるものに限る。)、消耗品等の購入費、資料の印刷製本費など
  - E) その他：各種外注費、委託費、広報費など
- ③ 本資金に係る会計事務は、対象活動について助言・指導を行う教職員(以下「アドバイザー」という。)の所属する部局(以下「所属部局」という。)で処理しますので、アドバイザーは、対象活動に係る経費の支出等に当たっては、所属部局に必要な手続きを依頼してください。
- ④ 必要経費に充当してなお残額がある場合は返納してください。本資金を必要経費以外に使用されると、交付の際に付された条件に違反する、不正な手段により交付を受ける等された場合と同様に、本資金の趣旨に反する行為があったものとされ、本資金の全部又は一部の返還を求められることがあります。

### (2) 支援期間

採択決定後、令和5年3月31日までの間に行う活動を支援の対象とします。

(3) 地域価値創造研究教育機構(以下「本機構」という。)のその他の関与

- ① 必要に応じて、本学の学生活動に対する学内外のニーズと学生側の課外活動への意欲、興味、関心、技能等のマッチングを仲介・斡旋します。なお、対象活動を行う学生のグループは、コミュニティ・デザイン・ラボ(CDL)内のロッカーを使用することができます。ミーティングやイベント等にCDLを活用してください。
- ② 必要に応じて、対象活動の関係者の交流の場を設定するとともに、対象活動の成果報告会やウェブでの情報発信等を行います。対象活動を行う学生は、上記の情報発信等に積極的に協力してください。
- ③ 対象活動の進捗状況等に応じて必要があると認めるときは、その実施計画の見直しや本資金の交付額の減額等を求めることがあります。

#### 4 応募・選考

(1) 提出書類

学生活動を実施する学生グループの代表者は、これを対象活動とすることを希望するときは、アドバイザー及び所属部局を通じて、次の書類を令和4年5月19日(木)17:00まで(5により追加して募集する場合にあっては、別途お知らせする日時まで)に本機構地域連携推進室に提出してください。

- ① 鳥取大学 学生 Small CoRE Project 応募書(様式1)
- ② 資金計画書(様式2)
- ③ 備品を購入する場合にあっては、それが必要な理由を記載した書面(様式任意)  
※本助成金で購入した備品は、鳥取大学の資産となります。

(2) 選考

(1)により提出された書類を本機構において次のような視点で審査して対象活動を選定し、その結果をアドバイザー及び所属部局を通じて令和4年6月上旬頃までに通知します。

- ① 本要項の2の(1)又は(2)に定める条件に十分に適合しているか。
- ② 資金計画や実施スケジュールは適切で実行可能なものか。

#### 5 追加募集について

今回の募集で対象活動が少ないときは、追加の募集を実施します。追加募集の有無や応募期限等については、下記URLの学生 Small CoRE Project Web ページにて最新情報を確認して下さい。

<https://www.core.tottori-u.ac.jp/scp/>

#### 6 事後評価等

- ① 対象活動の終了後には、実績報告書(A4 2枚程度)を提出してください。これに基づいて本機構では、対象活動において4の(2)に掲げる視点に係る事項が計画どおり適正に実施されたかという視点で事後評価を行います。また、年度末に報告会を開催しますので発表をお願いします。
- ② 対象活動を行う学生及びアドバイザーは、上記の評価に協力してください。
- ③ これらの評価の結果は公表し、今後の対象活動の選定等の参考にします。

#### 7 問合せ先

地域価値創造研究教育機構地域連携推進室 Small CoRE Project 担当  
0857-31-6777 (内線 2722) E-mail : core\_pbl@ml.adm.tottori-u.ac.jp

※下記でも相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。

地域価値創造研究教育機構地域創生教育推進室 室長 石田陽介 is@tottori-u.ac.jp

【地域学部】竹川俊夫 takegawa@tottori-u.ac.jp / 村田周祐 s-murata@tottori-u.ac.jp

【工学部】長曾我部まどか mchoso@tottori-u.ac.jp / 影山智明 tkageyama@tottori-u.ac.jp

【農学部】近藤謙介 k-kondo@tottori-u.ac.jp / 木原奈穂子 nhkihara@tottori-u.ac.jp

【医学部】谷口晋一 stani@tottori-u.ac.jp / 天野宏紀 h-amano@tottori-u.ac.jp